

# 事例①（児童買春）

## 【児童買春、児童ポルノ禁止法違反】

### ○ 事案概要

高校教諭A（50代・男性）はSNSで「パパ活」の募集をしていた**女子中学生B**に連絡



Aは「お金あげるよ。1万円でもいい？」などとDMでBと会う約束をした



当日、AはBをホテルに連れ込み、**Bの胸を触る等のわいせつな行為**をした



後日、警察の捜査員がサイバーパトロールでBのパパ活に関する書き込みを発見



警察が、Bから事情を聞いたところ、Aとの行為が発覚し、警察による捜査開始



**逮 捕**

○ 刑事処分 罰金50万円

○ 行政処分 懲戒免職

## 事例②（児童ポルノ・映像送信要求）

### 【児童買春、児童ポルノ禁止法違反・映像送信要求】

#### ○ 事案概要

小学校教諭A（20代・男性）は、女子中学生BとSNSで知り合う

↓  
AはDMでBに「肌のケアについて教えてあげる」「胸の状態を見てあげるから画像を送って」などと裸の動画像の送信を要求

↓  
BはAから繰り返し要求されるがまま、裸の写真を送信してしまった

↓  
後日、「裸の写真を拡散されたらどうしよう」と心配になったBが両親に相談

↓  
両親が警察に被害を申告したことで、警察による捜査開始

↓  
**逮 捕**

- 刑事処分 罰金40万円
- 行政処分 懲戒免職

# 事例③（盗撮）

## 【性的姿態撮影等処罰法違反】

### ○ 事案概要

**高校教諭A（30代・男性）**は、運動部の顧問であり、女子マネージャーも複数人在籍していた



ある日、Aは女子マネージャー更衣室にスマートフォンを隠して設置し、  
**女子マネージャー5名の下着姿等を盗撮**



録画状態のスマートフォンを発見した女子マネージャーが両親に通報



**両親が学校に連絡したほか、警察にも連絡したことで、警察による捜査開始**



**逮 捕**

○ 刑事処分 罰金50万円

○ 行政処分 懲戒免職

# 事例④（盗撮）

## 【性的姿態撮影等処罰法違反】

### ○ 事案概要

**小学校外部指導員A（30代・男性）**は、数年前から夏休み限定の水泳指導員（ボランティア）として活動



Aは、女子更衣室として使用されていた教室にスマートフォンを置いて  
**女子児童の着替えの様子を盗撮**



巡回していた他の教諭にスマートフォンを発見されたことで発覚、**学校から警察に連絡**



警察の捜査により容疑が固まり、**逮捕**



その後、学校も**保護者説明会を実施**する等の対応に追われた

### ○ 刑事処分 懲役2年（執行猶予4年）

# 事例⑤（わいせつな行為）

## 【不同意わいせつ】

### ○ 事案概要

中学校教諭A（50代・男性）は女子中学生Bの担任である



AはBが自身に好意を抱いていると一方的に思い込んでおり、ある日、部活動の合間に空き教室に呼び出してわいせつな行為に及んだ



Bの相談を受けた保護者が学校及び警察へ通報したことにより発覚、警察による捜査開始



逮捕

※AとBの供述の違い

A：「Bは私のことが好きで、嫌がってはいなかった」

B：「とても嫌だった」

- 刑事処分 懲役3年（執行猶予4年）
- 行政処分 懲戒免職

# 事例⑥（性交等）

## 【不同意性交等】

### ○ 事案概要

**中学校講師A（20代・男性）**は、勤務先の中学校に在籍する**女子中学生B**が自身に好意を抱いていることを知る



そのことを利用し、Bを複数回ホテルに呼び出して**性交等**に及んだ



後日、Aが他の事件で捜査対象者となった



警察がAのスマートフォンを確認したところ、Bに対する「定期的にメッセージ消しとけよ」「先生って呼ぶな」「ホテルの近くに着いたら連絡しろ」などの**メッセージを発見したことで発覚**



警察による捜査の結果、容疑が固まり**逮捕**

**他にも児童生徒性暴力事案の余罪があり、複数回にわたり逮捕**

- 刑事処分 懲役 6 年
- 行政処分 懲戒免職

# 事例⑦（わいせつな行為）

【青少年保護育成条例違反（みだらな性行為）】 ※態様によっては、児童福祉法違反にも該当し得る

## ○ 事案概要

高校教諭A（50代・男性）は、顧問である文化部に所属している女子高校生Bが自身に好意を抱いていることを知る



Aは、「部長に推薦してあげるから触らせて」などと言ってBを部室に誘い込み、複数回にわたってわいせつな行為に及んだ



Bは、Aも自分に好意があると思い込んでいたが、次第に、Aは、わいせつな行為はするものの、それ以外は冷たい態度をとることから、不信感を覚えたBが警察に相談、発覚



**逮 捕**

- 刑事処分 罰金50万円
- 行政処分 懲戒免職

## 事例⑧（わいせつな行為）

### 【青少年保護育成条例違反（みだらな性行為）】

#### ○ 事案概要

中学校非常勤講師A（20代・男性）は、男子高校生BとSNSで知り合う



AはBとDMで会う約束をし、ホテルなどで複数回わいせつな行為に及んだ



ある日、「男性教諭が男子高校生と性行為をしている」「名前も住所も教えることができる」などの匿名通報がホテルを管轄している警察署に寄せられたことで発覚、警察による捜査開始



逮捕

○ 刑事処分 罰金50万円

○ 行政処分 懲戒免職



# 事例⑨（性交等）

## 【青少年保護育成条例違反（みだらな性行為）】

### ○ 事案概要

高校教諭A（30代・女性）は、男子高校生Bと学校外の運動サークルで出会う



Aは勤務校で運動部顧問を務めており、Bに対して個人的に指導を行うようになった



次第にAがBを自宅に呼ぶようになり、そこで複数回にわたり**性交等**に及んだ



Aの勤め先に「女性教諭が男子高校生と交際しているようだ」などの情報が寄せられ、  
学校関係者が警察に通報したことで発覚、警察による捜査開始



**逮 捕**

○ 刑事処分 罰金50万円

○ 行政処分 懲戒免職

## 事例⑩（性交等）

【児童福祉法違反（児童に淫行させる行為）】 ※態様によっては、不同意性交等罪にも該当し得る

○ 事案概要

高校教諭A（20代・男性）は、女子高校生Bが所属する部活動の顧問であり、進路相談の名目でBを自宅に連れ込む



Bの「断れば進路に影響が出るかもしれない」という心理につけ込み、性交等に及んだ



Bが友人や他の教諭に相談したことで発覚、警察による捜査開始



逮捕

○ 刑事処分 罰金50万円

○ 行政処分 懲戒免職

# 事例⑪（リベンジポルノ）

## 【リベンジポルノ防止法違反・青少年保護育成条例違反（みだらな性行為）】

### ○ 事案概要

**小学校教諭A（40代・男性）**は、職業や既婚者であることを隠してSNSで知り合った**女子高校生B**と交際、複数回にわたり**性交等**に及んだ



Aが既婚者であることを知ったBが、連絡を断とうとした



AはBに対し「ブロックを解除しないと晒す」「デジタルタトゥーの怖さを知れ」などと**脅迫**



さらに、交際中に撮影したBの**わいせつ動画をインターネット上に公開**



自身の動画が公開されていることを知った**Bが管轄警察署に相談した**ことで発覚、警察による捜査開始



**逮捕、Aには他にも児童生徒性暴力事案の余罪があることが後から判明**

- 刑事処分 懲役3年（執行猶予5年）
- 行政処分 懲戒免職

## 事例⑫（盗撮）

### 【迷惑防止条例違反】

#### ○ 事案概要

**小学校教諭A（20代・男性）**は、自身の靴の甲の部分に穴を開け、カメラを仕込んでおり、商業施設内で**女子中学生B**の股下にその靴を差し入れた



その状況を目撃した施設の従業員が、「ちょっといい」と声をかけると、同従業員の制止を振り切って逃走



従業員が「逃げるな」と叫びながら追いかけたところ、居合わせた客がYを取り押さえる



**現行犯逮捕**

- 刑事処分 罰金30万円
- 行政処分 懲戒免職

# 児童生徒への性暴力等を見つけたら...

## 【教員性暴力等防止法】

### ○児童生徒性暴力等に対する措置（第18条）

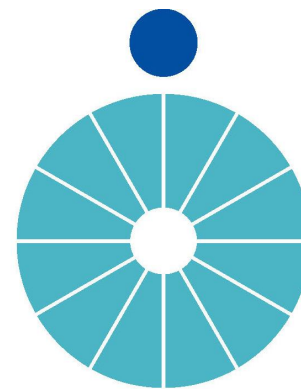
- ・相談を受けた者
  - 1 項 性暴力の事実があると思われるときは、学校又は学校の設置者へ通報
  - 2 項 犯罪の疑いがあると思われるときは、所轄警察署へ速やかに通報
  - 3 項 犯罪があると思われるときは、刑事訴訟法<sup>10</sup>の定めるところにより告発
- ・学校
  - 4 項 通報等があれば学校の設置者へ直ちに通報、事実確認、報告
  - 5 項 被害児童生徒の人権及び特性に配慮し、名誉及び尊厳を害しないよう注意
  - 6 項 被害児童生徒の保護に必要な措置を講ずる
  - 7 項 犯罪があると認めるときは所轄警察署へ直ちに通報、連携して対処



<sup>10</sup> 刑事訴訟法第239条2項 官吏又は公吏は、その職務を行うことにより犯罪があると思料するときは、告発をしなければならない。

**卑劣な犯行は様々なきっかけから、  
時を経ても必ず発覚します。**

**共に性暴力等から児童生徒を守って  
いきましょう。**



文部科学省